

## 第4課 信仰によって義とされる

安息日午後 今週のテーマ

キリストの「贖い」とは、「身代わりの償い」を意味します。この世の法律は自分で償うことを要求します。スピード違反の罰金は自分で支払わなければなりません。同様にこの世の宗教は自分で償うことを要求します。しかし、キリストは私の身代わりに償ってくださいました。キリストの十字架上の苦しみと痛みは、私が経験すべき第二の死の経験でした。

日曜日 律法を実行すること ローマ 3:19, 20

Q. 律法のなし得ることは何ですか？ A. 神の品性を現し、罪の自覚を生じさせること

Q. 律法のなし得ないことは何ですか？ A. 実行することによって神の前に義とされること

月曜日 信仰と義 ローマ 3:21

Q. ローマ 3:21 はどのような意味ですか？

A. 「律法と預言者によって立証され」 旧約聖書に預言されている、の意味

「神の義が示された」 キリストの贖いによる義が示された、の意味

Q. 私たちはどうしたら神の義(キリストの贖いによる義)を自分のものにすることができますか？

A. 信仰によって 「口でイエスは主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです」(ローマ10:9)。

火曜日 恵みと義認 ローマ 3:24

Q. ローマ 3:24 はどのような意味ですか？

A. 「キリスト・イエスによる贖い」 救い主なるイエス様による身代わりの償い、の意味  
「恵み」 受ける資格のない者に与えられる、の意味

Q. 福音を受け入れようとしない人がいるのはなぜですか？

A1. 自力で救いを得ようとするため(律法主義) A2. 快楽に走り、神様の願いに反するため(快楽主義)

水曜日 「神の義」 ローマ 3:25~27

サタンは神様を次のように訴えます。「罪人を滅ぼすなら神に愛はない。罪人を赦すなら神に正義はない」。しかし、神様はイエス様による身代わりの償いを果たされることによって、神様の義(愛と正義)をお示しになりました。私たちを義とされることによって、神様はご自身の愛と正義を全宇宙の前に明らかにされたのです。

木曜日 信仰と行い ローマ 3:28

Q. 律法が私たちを救わないのであれば、私たちは律法に従う必要がないのでしょうか？

A1. 違います。確かに、救いの根拠はイエス様の贖い(身代わりの償い)です。行いではありません。

しかし救いの目的(救いの意義)は、私たちが罪を犯す前のアダムの状態に回復されることです。全人的回復こそが救いの目的(救いの意義)です。この全人的回復が完全になされるのはイエス様のご再臨の時ですが、現世においても、回復の祝福は、私たちの意思と、主のお力と、ご聖霊の内住によって豊かに与えられます。救いを受け入れるということは、この全人的回復の祝福を自分のうちに迎えることを意味しています。全人的回復は神様の律法を完成するのです。

A2. 違います。私たちは神様の律法に従うことによって、真の喜びと平安を覚えるのです。

「わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう」(マタイ11:29)。